

- 問1 日本の大都市圏において、都心のオフィス街や官庁街では「昼間人口」が「夜間人口」を大きく上回る傾向があります。このような現象が起こる主な理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 山口県公立入試 類似)
1. 郊外の住宅地から都市の中心部へ、多くの人々が通勤や通学のために移動してくるから
 2. 都市中心部において、昼間の時間帯だけ地方からの観光客が一時的に住民登録を行う制度があるから
 3. 都心部では夜間の騒音問題を避けるため、住民が夜間だけ郊外へ移動するように義務付けられているから
 4. 都心の再開発によって大規模なマンションが建設され、昼間に活動する主婦や高齢者の居住者が増えたから
- 問2 関東地方の農業統計によると、茨城県はピーマン、ほうれん草、はくさい、レタスといった野菜の生産において全国でも有数の規模を誇っています。この地域で野菜生産が盛んになった理由として、地理的な背景と流通の仕組みから説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2024年 福井県公立入試 類似)
1. 冬でも温暖な気候を利用し、ピニールハウスなどを用いて出荷時期を早める工夫をしているから。
 2. 標高の高い地域が多く、夏でも涼しい気候を利用して他の地域より遅い時期に出荷できるから。
 3. 大消費地までの距離が近いいため、輸送費を抑えながら鮮度を保ったまま出荷できるから。
 4. 土地価格が非常に安く、広大な農地を確保して穀物生産に特化することが容易だったから。
- 問3 関東地方北部の内陸に位置し、西側を群馬県、東側を茨城県に挟まれた地理的特徴を持つ県があります。世界遺産にも登録されている日光東照宮などの歴史的な観光資源を擁するこの県の名前を選択してください。 (2020年 三重県公立入試 類似)
1. 茨城県
 2. 栃木県
 3. 群馬県
 4. 埼玉県
- 問4 関東地方の各都県の人口特性を比較した統計において、埼玉県は東京都と比べて「昼夜間人口比率」が低い数値を示す特徴があります。この要因を説明した文として最も適切なものはどれか。 (2021年 徳島県公立入試 類似)
1. 豊かな自然環境を求めて、都心部から埼玉県内へ移住する高齢者が増え、昼間の生産年齢人口が減少しているため。
 2. 鉄道網の整備により、県外にある東京都心部などへ通勤・通学する人々が居住するベッドタウンとしての性格が強いため。
 3. 県内の内陸部に広大な工業団地が造成され、夜間勤務に従事するために県外から流入する労働者が非常に多いため。
 4. 東京都に比べて地価が高いため、職場の近くに住むことを避けて、夜間だけ県外へ移動する人々が増加しているため。
- 問5 ある工業地域の出荷額の割合を示した統計資料によると、機械工業が約四十五パーセントと最も大きな割合を占め、次いで食料品が約十五パーセント、金属が約十四パーセント、化学が約十パーセントとなっています。このように機械工業を中心に多種多様な工業が混在し、内陸部に多くの工場が進出している背景として、最も重要な要因は何ですか。 (2022年 山口県公立入試 類似)
1. 冷涼な気候を活かして、精密機械の組み立てに必要な環境が整っていたこと
 2. 掘込港湾の建設により、大型の貨物船による原材料の輸入が容易になったこと
 3. 高速道路網の発達により、トラックによる迅速な輸送が可能になったこと
 4. 近隣に大規模な油田があり、石油化学工業の原料を安価に調達できたこと
- 問6 関東地方の北部に位置する群馬県のように、日本の都道府県の中には「県名」と「県庁所在地の名称」が異なるものが存在します。群馬県の県庁所在地である都市名として正しいものを選びなさい。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)
1. 前橋市
 2. 高崎市
 3. 宇都宮市
 4. 水戸市
- 問7 香取市佐原の歴史的景観が形成された背景として、地理的な条件と歴史的な背景を組み合わせた説明として正しいものはどれですか。 (2025年 埼玉県公立入試 類似)
1. 急峻な山々に囲まれた要害の地であったため、戦国時代の城郭建築を中心とした都市景観がそのまま残された。
 2. 利根川下流の小野川沿いに位置し、江戸時代に物資を運ぶ舟運の拠点として発展したため、商人たちの活気ある町並みが作られた。
 3. 明治時代以降に海外貿易の拠点として開港されたため、西洋風のレンガ造りの建物が並ぶ港町として発展した。
 4. 広大な平野を活用した大規模な稲作を推奨するため、幕府が農民の居住区として計画的に建設した集落である。
- 問8 幕末にアメリカのペリーが来航した浦賀や、日米修好通商条約によって開港が決められ、その後の日本で最大の貿易額を誇る港へと発展した横浜が位置する都道府県として正しいものを選びなさい。 (2016年 山口県公立入試 類似)
1. 千葉県
 2. 神奈川県
 3. 東京都
 4. 静岡県
- 問9 つくば市の人口統計において、昼間人口を夜間人口で割って100を掛けた「昼夜間人口比率」が100%前後で推移している理由として、都市の特徴から考察した説明として最も適切なものはどれですか。 (2024年 神奈川県公立入試 類似)
1. 都心へ通勤する住民が極端に多いため、夜間人口が昼間人口を常に上回る典型的なベッドタウンとなっているから
 2. 鉄道開業以降、市外への通勤者と市外からの通勤者の双方が激減し、市内だけで経済活動が完結するようになったから
 3. 市中心部には商業施設や官公庁のみが集中し、周辺部に居住者が分散するドーナツ化現象が顕著に現れているから
 4. 研究機関や大学が集積して市外からの通勤・通学者が多い一方で、鉄道網の整備により居住する住民も増えているから
- 問10 栃木県の地理的な位置関係や特徴を説明した文として、適切なものはどれですか。 (2020年 三重県公立入試 類似)
1. 関東地方の南部に位置し、東京都や神奈川県と隣接する人口密度の非常に高い県である。
 2. 関東地方の北部に位置する内陸県であり、日光などの歴史的な観光地を擁している。
 3. 関東地方の西部に位置し、日本海側と接することで冬場には多くの降雪が見られる。
 4. 関東地方の東部に位置し、太平洋に面した広大な海岸線と港湾を持っている。
- 問11 群馬県の工業に関する統計資料において、製造品出荷額等のうち約31.2%を占め、県内で最も大きな割合となっている品目はどれですか。 (2021年 福岡県公立入試 類似)
1. 輸送用機械
 2. 化学工業
 3. 石油・石炭製品
 4. 金属製品
- 問12 統計資料において、農業産出額が2,400億円を超え、製造品出荷額等も約7.8兆円と非常に高い水準にありながら、発電形式別の発電電力量では火力発電（約1.6億kWh）に対し、水力発電（約40.6億kWh）の割合が極めて高いという特徴を持つ県はどこですか。 (2024年 岡山県公立入試 類似)
1. 静岡県
 2. 東京都
 3. 群馬県
 4. 愛知県

答え合わせ・解説

問1	答え 1 郊外の住宅地から都市の中心部へ、多くの人々が通勤や通学のために移動してくるから	昼間人口は、その地域に住んでいる人（夜間人口）に、他の地域から通勤・通学してくる人を足し、そこから他の地域へ通勤・通学する人を引いて算出されます。東京都心などの都市中心部には企業や学校が集中しているため、昼間に流入する人口が非常に多くなり、夜間の居住人口を大幅に上回る現象が生じます。
問2	答え 3 大消費地までの距離が近いため、輸送費を抑えながら鮮度を保ったまま出荷できるから。	茨城県の農業の強みは、首都圏という巨大な市場のすぐそばにあることです。野菜、特に葉物野菜などは鮮度が命であるため、移動距離が短いことは大きな武器になります。また、ガソリン代などの輸送コストを低く抑えることができるため、他の遠隔地産の野菜に比べて価格競争力を高めることが可能です。なお、高冷地を利用するのは長野県などの抑制栽培、温暖な気候を利用するのは宮崎県などの促成栽培の特徴です。
問3	答え 2 栃木県	関東地方の北部に位置する栃木県は、海に面していない内陸県の一つです。西に群馬県、東に茨城県、南に埼玉県と接しています。県内には日光国立公園があり、日光東照宮をはじめとする「日光の社寺」は世界文化遺産として国際的にも知られています。
問4	答え 2 鉄道網の整備により、県外にある東京都心部などへ通勤・通学する人々が居住するベッドタウンとしての性格が強いため。	埼玉県は東京都に隣接しており、交通網が発達していることから、都心へ通勤・通学する人々の居住地である「ベッドタウン」としての役割を担っています。そのため、夜間の居住人口に比べて、昼間に県内に留まっている人口が少なくなり、昼夜間人口比率（昼間人口÷夜間人口×100）が100%を下回るという特徴があります。これに対し、オフィスや学校が集中する東京都は、昼間に周辺県から人が流入するため、比率が100%を大きく超えます。
問5	答え 3 高速道路網の発達により、トラックによる迅速な輸送が可能になったこと	北関東工業地域は、東北自動車道や関越自動車道、北関東自動車道などの高速道路網が整備されたことで、内陸部であっても製品を効率よく市場へ運べるようになったため発展しました。これにより、広い用地を必要とする機械工場や、原料の配送が重要な食品工場などが内陸部へ進出する「内陸型工業」の形が定着しました。
問6	答え 1 前橋市	群馬県の県庁所在地は前橋市です。同じ関東地方の北部にある栃木県（宇都宮市）や茨城県（水戸市）も、県名と県庁所在地の名前が異なる県として知られています。高崎市は群馬県内において前橋市と並ぶ主要な都市で、交通の要所ですが、県庁所在地ではありません。
問7	答え 2 利根川下流の小野川沿いに位置し、江戸時代に物資を運ぶ舟運の拠点として発展したため、商人たちの活気ある町並みが作られた。	佐原が「北総の小江戸」と呼ばれるほど発展したのは、利根川を利用した舟運（水上輸送）の要衝だったからです。周辺で収穫された米や特産品を江戸へ運ぶため、中継地点である小野川沿いに多くの問屋や蔵が建てられました。このような水運との深い関わりが、川に面して建物が並ぶ独特の歴史的景観を生み出す要因となりました。
問8	答え 2 神奈川県	1853年にペリーが来航した浦賀（現在の横須賀市）や、開国後に生糸の輸出などで日本最大の貿易港となった横浜は、いずれも現在の神奈川県に位置しています。この地域は江戸幕府のお膝元である江戸に近い要衝として、日本の開国と近代化において中心的な役割を果たしました。
問9	答え 4 研究機関や大学が集積して市外からの通勤・通学者が多い一方で、鉄道網の整備により居住する住民も増えているから	昼夜間人口比率が100%に近いという状態は、その地域で生活する人（夜間人口）と、仕事や通学で滞在する人（昼間人口）のバランスが取れていることを示します。つくば市は筑波研究学園都市として多くの研究機関や大学を擁するため、市外からの流入（昼間人口の増加要因）が多いのが特徴です。同時に、鉄道網の整備によって居住地としての人気も高く、夜間人口も増加し続けているため、単なるベッドタウン（100%を大きく下回る傾向）とは異なる独自の人口構造を維持しています。
問10	答え 2 関東地方の北部に位置する内陸県であり、日光などの歴史的な観光地を擁している。	栃木県は関東地方の北部に位置し、周囲を他の県に囲まれた内陸県です。県北西部には山地が広がり、日光などの国立公園や歴史的な街並みが存在します。また、県庁所在地の宇都宮市は工業や商業が盛んですが、県全体としては農業や観光業も重要な産業となっています。
問11	答え 1 輸送用機械	群馬県は北関東工業地域を代表する工業県であり、特に太田市などを中心に自動車産業が発達しています。そのため、製造品出荷額等の内訳では、自動車などの「輸送用機械」が全体の3割以上という高い割合を占めているのが大きな特徴です。
問12	答え 3 群馬県	この県は関東地方北部に位置し、全国有数の農業産出額を誇ると同時に、北関東工業地域の一角として輸送用機械などの製造業も盛んです。最大の特徴はエネルギー構造にあり、利根川の上流部にあたる豊富な水資源と山地の急峻な地形を活かした水力発電が、火力発電を大幅に上回る規模で行われています。